

里山ボランティア通信

2018年 7月号

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。

里山地区の休園に伴い、ボランティア活動もお休みでした。休園は、6月11日～7月11日までの1か月間続き、7月14日から活動を再開しました。



桑の実

7月14日(土) 活動再開!

1ヶ月ぶりの里山、とにかく草刈りをしました。



今回の件をあって、クマをはじめとした動物たちと出会わないように、新たに「動物避け」の鐘を取り付けました。鐘を鳴らし、クマよけを鳴らして、活動をします。



7月21日(土) 久しぶりの森の楽校!

里山にはやっぱり子供たちの歓声が似合いますね!



朝開：危険予知活動



飯盒炊飯



伐倒体験



里山のかき氷

7月28日(土) 台風予報

森の楽校周辺の草刈り、ホタルの沢の草刈り、コナラに薬剤注入



ツリーハウス周囲の草刈り



コナラ薬剤注入



ごんごっば団子づくり



ごんごっば団子

これからの活動予定

■これからの主な活動

8月4日(土)	ボランティア活動
8月5日(日)	水辺の楽校(会員・一般)
8月11日(土)	ボランティア活動
8月25日(土)	森の楽校(会員・一般)

- ・ 里山地区では、ツキノワグマの痕跡が発見され、6月11日(月)から1ヶ月間、閉園していました。
- ・ 様々な対策の結果、7月12日から再オープンして、やっと子供たちの元気な声が里山に戻ってきました。

7月から、森の楽校、水辺の楽校ともに再開します!夏を楽しみましょう!